

日本生殖免疫学会の年譜

第1回 生殖免疫研究会

世話人：兵庫医科大学産科婦人科学・磯島晋三
日 時：昭和56年1月30日(金)午後3時より
31日(土)午後5時30分まで
場 所：宝塚ホテル(宝塚市)

プログラム

- Theme I 動物に於ける体外受精の現状**
丹羽皓二(京大)
- Theme II 動物卵子の凍結保存及びその手技**
角田幸生(農林省畜産)
- Theme III 精子精漿抗原の生殖免疫への関与**
その1 抗ダイニン抗体を用いた2、3の実験
毛利秀雄(東大・教養)
その2 抗精子抗体による不妊研究の現状
磯島晋三(兵庫医大)
- Theme IV 卵巣及び卵子抗原の生殖免疫への関与**
その1 抗卵透明帯抗体について
及川胤昭(山形大・理)
その2 抗卵子自己抗体の産生
西塚泰章(愛知がんセンター)
- Theme V その他の諸問題についての討議**
その1 絨毛抗原とその役割
その2 Pregnancy associated proteins

特別講演 I

免疫応答と T cell-replacing factor について
高津聖志(阪大医癌研)

特別講演 II

Pregnancy associated suppressor factor
笠倉新平(京大・医)

参加者 56名

◎研究会第2日目(1/31)に精子不動化抗体の検出法および抗体による精子染色法などをテーマとして兵庫医大で参加希望者自身に手技の実施と、比較を行なう Workshop を開催した。

第2回 生殖免疫研究会

世話人：兵庫医科大学産科婦人科学・磯島晋三
日 時：昭和57年1月29日(金)午後1時より
30日(土)正午まで
場 所：宝塚ホテル(宝塚市)

プログラム

一般演題 23題

特別講演 I

着床におけるマクロファージの役割
館 鄰(東大・理)

特別講演 II

モノクローナル抗体の作製と応用
渡辺 武(佐賀医大)

参加者 82名

第3回 生殖免疫研究会

世話人：兵庫医科大学産科婦人科学・磯島晋三
日 時：昭和59年1月27日(金)
28日(土)
場 所：ホテル阪神(大阪)

プログラム

一般演題 17題

特別講演 I

細胞融合による細胞工学的研究の展望
岡田善雄(阪大細胞工学)

特別講演 II

リンパ球抗原の解析
菊池浩志(札幌医大)

参加者 68 名

第4回 生殖免疫研究会

世話人：東京大学 理・館 鄰

日 時：昭和 60 年 2 月 1 日（金）午後 1 時より
午後 4 時半まで
2 日（土）午前 10 時より
午後 5 時 25 分まで

場 所：シオノギ製薬東京支店会議室（東京）

プログラム

一般演題 21 題

特別講演 I

両生類の受精における生殖輸管の役割
片桐千秋（北大・理）

特別講演 II

H-Y 抗原研究の現状
長井幸史（福井医大）

参加者 138 名

日本生殖免疫研究会

役員、会則（昭和 60 年 2 月 1 日施行）会員名簿
（60 名）発行

第5回 日本生殖免疫研究会

世話人：兵庫医科大学産科婦人科学・磯島晋三、
京都大学農学部・入谷 明

日 時：昭和 61 年 1 月 17 日（金）午後 1 時より
午後 8 時まで
18 日（土）午前 9 時 30 分より
午後 1 時 30 分まで

場 所：神戸国際会議場（神戸市）

プログラム

一般演題 20 題

特別講演 I

細胞接着分子と組織構築
竹市雅俊（京大・理）

特別講演 II

マウス受精卵への遺伝子導入とその機構発現
山村研一（阪大・医）

参加者 105 名

※日本生殖免疫研究会は事情により日本医学生殖免疫学会と日本基礎生殖免疫学会の 2 つの組織に分離した。

第1回 日本基礎生殖免疫学会

会 長：（財）発生生殖生物学研究所・及川胤昭
日 時：昭和 61 年 12 月 13 日（金）午前 9 時より
午後 6 時まで
14 日（土）午前 9 時より
午前 11 時 50 分まで
場 所：山形グランドホテル（山形）

プログラム

一般演題 23 題

特別講演 I

Immunology and reproduction : A reciprocal contribution to comprehension and action
G. A. Visin (INSERM Hospital, France)

特別講演 II

哺乳類初期発生での最初の細胞系列の成立
加藤淑祐（財：発生生殖生物学研究所）

特別講演 III

胎児分化抗原としての糖蛋白質
村松 喬（鹿児島大・医）

第2回 日本基礎生殖免疫学会

会 長：大阪大学医学部産婦人科・谷澤 修
日 時：昭和 62 年 11 月 17 日（火）午前 9 時より
午後 6 時 30 分まで
18 日（水）午前 9 時より
午後 1 時まで
場 所：大阪メディカルホール（大阪）

プログラム

一般演題 22 題

特別講演 I

Molecular diversity of HLA class II gene.
Jack Silver (New York University, USA)

特別講演 II

糖タンパク質ホルモンの構造と機能—糖鎖の役割を中心に—
木幡 陽（東大・医科研）

特別講演 III

Glycosyltransferases as embryonic recognition proteins and as immunoglobulin superfamily.
Stephene Roth (University of Renssylvania, USA)

特別講演 IV

Basic and clinical problems in hCG immunology.
G. P. Talwar (National Institute of Immunology, India)

特別講演 V

雄性特異因子（H- Y 抗原）の研究の現状と性分化への応用
内海恭三（京大・農）

第 3 回 日本基礎生殖免疫学会

会 長：東京大学 教・毛利秀雄
日 時：昭和 63 年 12 月 9 日（金）
10 日（土）
場 所：シオノギ製薬東京支店会議室（東京）

プログラム

一般演題 30 題

特別講演 I

Celluar and molecular biology of mammalian receptor for sperm.
P. M. Wasserman (Roche Inst, USA)

特別講演 II

The molecular biology of a sperm antigen which functions in fertilization
M. G. O’Rand (University of North Carolina, USA)

特別講演 III

Molecular biology of trophoblast protein-1 : Endocrinological and immunological implications.
今川和彦（University of Missouri-Columbia, USA）

※第 4 回及び第 5 回日本基礎生殖免疫学会は日本医学生殖免疫学会との Joint Meeting として開催された。

第 4 回 日本基礎生殖免疫学会

会 長：名古屋大学医学部・友田 豊
日 時：平成元年 11 月 28 日（火）午後 2 時から
午後 5 時 30 分まで
29 日（水）午前 9 時 30 分から
正午まで
場 所：興和紡績（株）本社ビル（名古屋市）

プログラム

一般演題 25 題

招請講演 I

Immunological studies of the porcine zona pellucida.
J. L. Hedrick (University of California, Davis, USA)

招請講演 II

Immunobiology of trophoblast.
Gordon M. Stirrat (University of Bristol, U. K.)

招請講演Ⅲ

Interleukin-6 の分子生物学と医学

岸本忠三 (阪大・細胞工学センター免疫細胞部門)

第5回 日本基礎生殖免疫学会

会 長：香川医科大学免疫病理学・北条憲二
日 時：平成2年12月6日(木) 午前10時15分から
午後5時まで
7日(金) 午前8時55分から
午後4時50分まで
場 所：アナプキ・インテリジェント・タワー(香川県)

プログラム

一般演題 24題

招請講演Ⅰ

The Hemizona Assay and Its Uses

Nancy J. Alexander (National Institutes of Health, USA)

招請講演Ⅱ

自己寛容と臓器局在性の自己免疫病

田口修博(愛知がんセンター研究所・第2病理)

招請講演Ⅲ

Genetic Factors Influencing Reproduction and Susceptibility to Cancer.

Thomas J. Gill (University of Pittsburgh, USA)

招請講演Ⅳ

Effects of Transforming Growth Factor- β (TGF- β) on Cytokines and Their Receptors

Foost J. Oppenheim (Frederick Cancer Research Facility, USA)

招請講演Ⅴ

Cytokine Communication between the Maternal Immune and Reproductive Systems

Thomas G. Wegmann (University of Alberta, Canada)

※第6回日本基礎生殖免疫学会と第6回日本医学
生殖免疫学会は、今回より合併して日本生殖免疫
学会として再出発したが、双方とも第6回に当た
るので、合併した最初の日本生殖免疫学会を第1
回とせず、第6回日本生殖免疫学会として以後引
き継いでいくことに決定された。

第6回 日本生殖免疫学会

会 長：放送大学・毛利秀雄
日 時：平成3年12月12日(木) 午前10時15分から
午後5時まで
13日(金) 午前8時55分から
午後4時50分まで
場 所：野口英世記念会館(東京)

プログラム

一般演題 62題

招請講演Ⅰ

Immunoglobulin and Fc binding factors of human seminal plasma

Samuel S. Koide (Center for Biomedical Research, the Population Council, USA)

招請講演Ⅱ

精子不動化抗体に起因する女性不妊研究の歩み

磯島晋三(兵庫医大・産婦)

招請講演Ⅲ

胎盤トロホブラストの免疫学的意識をめぐって

竹内正七(帝京大・生物工学研究センター)

招請講演Ⅳ

The role of endometrial leucocytes in human pregnancy

Jodith N. Bulmer (University of Leeds, UK)

第7回 日本生殖免疫学会

会 長：鹿児島大学医学部産婦人科・永田行博
日 時：平成4年12月10日(木) 午前12時50分から
午後6時31分まで

11日(金) 午前9時から
午後6時30分まで
12日(土) 午前9時から
午後3時40分まで

場 所：城山観光ホテル（鹿児島市）

プログラム

一般演題 54題

招請講演 I

HLA-G and other human trophoblast antigen expression

Peter M. Johnson (University of Liverpool, UK)

シンポジウム I

「妊孕現象とサイトカイン」

第8回 日本生殖免疫学会

会 長：近畿大学農学部・角田幸雄
日 時：平成5年12月11日(土) 午前9時30分から
午後8時まで
12日(日) 午前9時30分から
午後4時45分まで

場 所：奈良県新公会堂（奈良市）

プログラム

一般演題 34題

特別講演

**Update on the Human Sperm Immunogen SP-10:
A Contraceptive Vaccine Candidate**

John C. Herr (University of Virginia, USA)

シンポジウム

【哺乳動物におけるマイクロマニピレーション技術の応用】

第9回 日本生殖免疫学会

会 長：北里大医学部免疫学・柏木 登
日 時：平成6年12月17日(土) 午前8時30分から
午後7時30分まで
18日(日) 午前8時30分から
午後4時10分まで

場 所：コクヨホール（東京）

プログラム

一般演題 39題

特別講演 I

マウス胚の遺伝子操作：トランスジェニックマウスとジーンターゲットイング

花岡和則（北里大・理・分子発生学）

特別講演 II

自己免疫疾患と妊娠—抗リン脂質抗体症候群を中心に—

小池隆夫（北大・医・第2内科）

第10回 日本生殖免疫学会

会 長：川崎医科大学泌尿器科教室・田中啓幹
日 時：平成7年12月16日(土) 午前8時55分から
午後8時まで
17日(日) 午前9時から
午後5時まで

場 所：川崎医療福祉大学（倉敷市）

プログラム

一般演題 48題

特別講演

**Structure and Biological Function of Porcine ZP3
(Zona Pellucida)**

Anthony G. Sacco (Wayne State University, USA)

記念講演

避妊ワクチンは人口増加を抑制できるか
磯島晋三（府中病院不妊センター）

菅村和夫（東北大・医・免疫学）

第11回 日本生殖免疫学会

会 長：岩手大学農学部動物機能開発学講座・安田泰久
日 時：平成8年12月7日（土）午前8時55分から
午後8時まで
8日（日）午前9時30分から
午後5時50分まで
場 所：岩手産業文化センターアピオ会議場（岩手県）

プログラム

一般演題 42題

特別講演

妊娠と免疫

田村 眞（東北大・医・輸血部）

シンポジウム基調講演

【着床とサイトカインネットワーク】
サイトカインネットワークの操作と細胞／遺伝子
制御治療
新井賢一（東大・医科研）

第12回 日本生殖免疫学会

会 長：名古屋大学医学部生化学第一講座：村松 喬
日 時：平成9年12月5日（土）午前9時から
午後7時まで
6日（日）午前8時30分から
午後5時30分まで
場 所：名古屋国際会議場（名古屋市）

プログラム

一般演題 32題

特別講演 I

精子形成の分子機構

西宗義武（阪大・微生物病研究所）

特別講演 II

サイトカインと免疫不全

記念講演

精子の運動を追って

毛利秀雄（基礎生物学研究所）

第13回 日本生殖免疫学会

会 長：兵庫医科大学産婦人科：香山浩二
日 時：平成10年12月11日（土）午前8時55分から
午後6時まで
12日（日）午前9時から
午後4時45分まで
場 所：神戸国際会議場（神戸市）

プログラム

一般演題 35題

招請講演

Non-human primate zona pellucida
glycoproteins : Molecular characterization and
potential for immunocontraception
Satish K. Gupta (National Institute of
Immunology, India)

特別講演 I

インターロイキン 18 による IFN- γ 産生誘導機構

中西憲司（兵庫医大・免疫学医動物学・同先端医学研究所）

特別講演 II

抗リン脂質抗体症候群の素因遺伝子解析
広瀬幸子（順大・医・病理）

シンポジウム

「生殖における免疫遺伝学的側面」

第14回 日本生殖免疫学会

会 長：日本大学医学部産婦人科学教室：佐藤和雄

日 時：平成 11 年 12 月 17 日（金）午前 9 時から
午後 5 時 45 分まで
18 日（土）午前 9 時から
午後 5 時 15 分まで
場 所：日本大学会館 2 階 大講堂（東京）

プログラム

一般演題 51 題

特別講演 I

適応免疫系の進化

松永丈志（ウメオ大・免疫，スウェーデン）

特別講演 II

受精と基本免疫系（innate immunity）に共通の細胞間識別分子

瀬谷 司（大阪府立成人病センター研究所）

特別講演 III

粘膜免疫：免疫の新大陸

清野 宏（阪大・微生物病研究所・免疫・生体防御研究部門）

シンポジウム

「HIV 母児感染の解析と予防」

第 15 回 日本生殖免疫学会

会 長：日本大学生物資源科学部：佐藤嘉平
日 時：平成 12 年 12 月 15 日（金）午前 9 時 15 分から
午後 5 時 30 分まで
16 日（土）午前 9 時から
午後 5 時まで
場 所：日本大学会館 2 階 大講堂（東京）

プログラム

一般演題 60 題（内：口演 46 題、ポスター 14 題）

特別講演

Cytokine and Hormone Networks in the Regulation of Cytotoxicity at the Interface.

Daniel Rukavina（University of Rijeka, Croatia）

シンポジウム

「発生工学の最近の話題から」

第 16 回 日本生殖免疫学会

会 長：東海大学医学部母子生育学系産婦人科学部門：
牧野恒久

日 時：平成 13 年 12 月 7 日（金）午前 9 時から
午後 6 時まで
8 日（土）午前 8 時から
午後 6 時 30 分まで

場 所：東海大学校友会館（東京）

プログラム

一般演題 42 題

特別講演 I

New insights into the molecular basis for success or failure of early pregnancy

David A. Clark（McMaster University, Canada）

特別講演 II

The antiphospholipid syndrome（APS）：An overview

John A. McIntyre（HLA-Vascular Biology Laboratory, St. Francis Hospital and Health Centers）

シンポジウム

【抗リン脂質抗体】

第 17 回 日本生殖免疫学会

会 長：大阪府成人病センター：佐治文隆
日 時：平成 14 年 11 月 29 日（金）午前 9 時から
午後 5 時 40 分まで
30 日（土）午前 9 時から
午後 4 時 45 分まで
場 所：大阪国際会議場（グランキューブ大阪）
（大阪）

プログラム

一般演題 43 題

招請講演

An Update on Diagnosis and Treatment of Recurrent Abortions

Carolyn B. Coulam (Sher Institute for Reproductive Medicine, Chicago, U.S.A.)

特別講演 I

Toll-like receptors : 形態形成から生体防御に関与するレセプター群

瀬谷 司 (大阪府立成人病センター研究所)

特別講演 II

遺伝導入技術の進歩と治療適用

金田安史 (阪大・分子治療学・遺伝子治療学)

シンポジウム

「脱落膜の免疫担当細胞」

第 18 回 日本生殖免疫学会

会 長：山口大学農学部：木曾康朗

日 時：平成 15 年 11 月 28 日 (金) 午前 8 時 55 分から
午後 5 時 30 分まで

29 日 (土) 午前 9 時から
午後 5 時 30 分まで

場 所：山口大学吉田キャンパス 大学会館 (山口)

プログラム

一般演題 40 題

招請講演

Understanding the Molecular Basis of – “The Window of Implantation”

Colin L. Stewart (Cancer and Developmental Biology Laboratory, U.S.A)

特別講演

着床の生物学－サイトカインとホルモンの協関

森 崇英 (醍醐渡辺クリニック不妊センター)

シンポジウム

「種間差の生殖生物学－生殖工学を中心に」

第 19 回 日本生殖免疫学会

会 長：聖マリアンナ医科大学：石塚文平

日 時：平成 16 年 10 月 11 日 (月) 午後 1 時から
午後 6 時まで

12 日 (火) 午前 8 時 30 分から

場 所：山のホテル (箱根)

プログラム

一般演題 37 題

特別講演

黄体における血管網の構築

杉野法広 (山口大・医・産婦)

シンポジウム 1

「着床をめぐる諸問題」

シンポジウム 2

「ART における最近の問題」

第 20 回 日本生殖免疫学会

会 長：関西医科大学：神崎秀陽

日 時：平成 17 年 12 月 2 日 (金) 午前 8 時 45 分から
午後 6 時まで

3 日 (土) 午前 8 時 45 分から
午後 3 時まで

場 所：守口ロイヤルパインズホテル (大阪)

プログラム

一般演題 40 題

招請講演

Specialised Immune Environments in The Endometrium : Determinants of Normal Endometrial Remodelling

Lois A. Salamonsen (Prince-Henry's Institute of Medical Research, Melbourne, Australia)

特別講演

革新的骨髄移植法—臓器移植と再生医療への応用—

池原 進 (関西医大・病理)

シンポジウム

「生殖免疫の基礎から臨床へ」

第21回 日本生殖免疫学会

会 長：東京医科大学：伊藤正裕

日 時：平成18年12月2日(土) 午前9時から
午後5時30分まで
3日(日) 午前8時45分から
午後3時30分まで

場 所：東京医科大学病院 (東京)

プログラム

一般演題 48題

特別講演 I

女性生殖器(子宮内膜)におけるアポトーシス
大槻勝紀 (大阪医大・解剖)

特別講演 II

Immune Defense Mechanisms in the Human in Female Reproductive Tract : Role of Sex Hormones in Innate Protection by Mucosal Epithelial Cells

CR Wira (Dept. of Physiology, Dartmouth Medical School, Lebanon, NH 03756, USA)

シンポジウム

「サイトカインと生殖をめぐる最新の研究」

第22回 日本生殖免疫学会

会 長：日本大学医学部：山本樹生

日 時：平成19年11月30日(金) 午前9時から
午後5時40分まで
12月1日(土) 午前8時45分から
午後3時20分まで

場 所：日本大学会館 (東京)

プログラム

一般演題 36題

特別講演 I

免疫グロブリンレセプター (FcR) とマスト細胞；炎症、免疫、アレルギーにおける分子細胞標的

羅 智靖 (日本大・医学総合研究センター・分子細胞免疫・アレルギー)

特別講演 II

Inflammation, TLRs and Pregnancy

Gil Mor (Dept. of Obstetrics and Gynecology, Yale University School of Medicine)

シンポジウム

「妊娠高血圧症候群と免疫」

第23回 日本生殖免疫学会

会 長：富山大学：齋藤 滋

日 時：平成20年12月6日(土) 午前8時50分から
午後6時40分まで
12月7日(日) 午前8時00分から
午後3時40分まで

場 所：富山国際会議場 (富山)

プログラム

一般演題 54題

招待講演

Activation of Maternal Tolerance in early pregnancy-a role for seminal fluid ?

Sarah A. Robertson (Reserch Centre for Reproductive Health University of Adelaide, Australia)

特別講演 I

生殖現象における免疫のかかわりー私の研究ノートからー
梅咲 直彦 (和歌山県立医大・産婦)

特別講演 II

Gamete Immunology と不妊・避妊
香山浩二 (兵庫医大・産婦)

International Symposium

「 Reproductive Immunology in Asian Countries」

第 24 回 日本生殖免疫学会

会 長：日本医科大学：竹下俊行
日 時：平成 21 年 11 月 27 日 (金) 午前 9 時から
午後 6 時まで
28 日 (土) 午前 9 時 30 分から
午後 4 時まで
場 所：京王プラザホテル 42F 富士 (東京)

プログラム

一般演題 51 題

特別講演 I

Role of tissue factor in trophoblast injury and fetal loss
Guillemina Girardi, Ph. D (Associate Scientist, Hospital for Special Surgery, Weill Medical College of Cornell University)

特別講演 II

母乳細胞とレトロウイルス感染
高橋秀実 (日本医科大・微生物免疫)

第 25 回 日本生殖免疫学会

※ International Congress of Immunology
(Kishimoto, Kobe) の Satellite Symposium と合併開催

会 長：大阪大学微生物研究所：岡部 勝
日 時：平成 22 年 8 月 28 日 (土) 午前 9 時から
午後 5 時まで
29 日 (日) 午前 9 時から
午後 3 時 35 分まで
場 所：大阪大学銀杏会館 (大阪)

プログラム

一般演題 21 題、ポスター 38 題

特別講演

Regulatory T cells for immunological tolerance and immune homeostasis.
Shimon Sakaguchi (Kyoto Univ. Osaka Univ.)

第 26 回 日本生殖免疫学会

会 長：名古屋市立大学：杉浦 真弓
日 時：平成 23 年 12 月 2 日 (金) 午前 8 時 55 分から
午後 5 時 30 分まで
12 月 3 日 (土) 午前 9 時 00 分から
午後 1 時 10 分まで
場 所：ウインク愛知 (名古屋)

プログラム

一般演題 38 題

特別講演 I

Controversies in Recurrent Pregnancy Loss
Mary D, Stephenson (Director, University of Chicago Recurrent Pregnancy Loss Program)

Professor of Obstetrics and Gynecology, Section
of Reproductive Endocrinology and Infertility,
University of Chicago, USA)

特別講演 II

生殖細胞の発生機構とその試験管内再構成
斎藤通紀（京都大学大学院医学研究科生体構造
医学講座機能微細形態学）

教育講演

抗リン脂質抗体検査の意義と問題点
渥美達也（北海道大学大学院医学研究科内科学
講座・第二内科）

シンポジウム

「抗リン脂質抗体症候群」

第 27 回 日本生殖免疫学会

会 長：大阪医科大学：大槻勝紀
日 時：平成 24 年 12 月 8 日（土）午前 8 時 30 分から
午後 6 時 25 分まで
12 月 9 日（日）午前 9 時 00 分から
午後 2 時 35 分まで
場 所：大阪医科大学（大阪）

プログラム

一般演題 31 題

特別講演 I

マンモスは再生するか？
若山照彦（山梨大学 生命環境学部, 理化学研
究所 発生・科学総合研究センター）

特別講演 II

移植腎慢性機能不全の発症メカニズムとその治
療：新規免疫寛容誘導法の開発に向けて
東 啓仁（大阪医科大学 泌尿器科学）

シンポジウム 1

「後天性精子形成障害の病態解析」

シンポジウム 2

「生殖免疫の立場から不妊症、不育症を議論す
る」

シンポジウム 3

「生殖医学研究に役に立つニュー・コンセプト、
ニュー・テクノロジー」

第 28 回 日本生殖免疫学会

会 長：兵庫医科大学：柴原浩章
日 時：平成 25 年 11 月 30 日（土）午前 8 時 45 分から
午後 5 時 55 分まで
12 月 1 日（日）午前 8 時 30 分から
午後 4 時 30 分まで
場 所：兵庫医科大学（兵庫）

プログラム

一般演題 40 題

Invited speech

**The significance of sperm and zona pellucida
antibodies in reproduction**
Zdenka Ulcova-Gallova (Genetics – Pilsen and
Department of Gynecology and Obstetrics of
Charles University, Czech Republic)

Asian Symposium 1

**The role of immune cells during implantation
and pregnancy**

Asian Symposium 2

**Immunological aspects and treatments
during pregnancy and recurrent pregnancy
loss**

シンポジウム

「産科的抗リン脂質抗体症候群の新たな展望」

第29回 日本生殖免疫学会

会 長：東京大学：藤井知行
日 時：平成26年12月12日（金）午前9時00分から
午後5時30分まで
12月13日（土）午前8時20分から
午後5時20分まで
場 所：伊藤国際学術研究センター（東京）

プログラム

一般演題 36題

特別講演 I

粘膜免疫クロストークシステム：呼吸器—消化器—生殖器での共通性と特異性
清野 宏（東京大学医科学研究所感染・免疫部門炎症免疫学分野）

特別講演 II

Inflammation, preterm labor and miscarriage
Gil Mor (Reproductive Immunology Unit, Yale University School of Medicine)

Asian Seminar

Inflammatory Change in Vasectomized Mouse Epididymis: Blood Epididymal Barrier, Immunological Characteristics and Sperm Fertility
Myung Chan Gye (Department of Life Science, Hanyang University)

シンポジウム1

「妊娠高血圧症候群の発症メカニズムの新展開」

シンポジウム2

「不妊における諸問題 基礎的見地から」

第30回 日本生殖免疫学会

会 長：熊本大学：片淵秀隆
日 時：平成27年11月21日（金）午前8時55分から
午後5時30分まで
11月22日（土）午前8時30分から
午後4時25分まで
場 所：くまもと県民交流館パレア（熊本）

プログラム

一般演題 52題

特別講演 I

妊娠高血圧腎症（PE）の病態と免疫
山本樹生（日本大学医学部産婦人科学系 産婦人科学分野）

特別講演 II

ヒト生殖細胞の発生機構の解明とその試験管内再構成に向けて
斎藤 通紀（京都大学大学院医学研究科 機能微細形態学）

特別講演 III

がん免疫療法の画期的なブレイクスルー
西村 泰治（熊本大学大学院生命科学研究部 免疫識別学分野）

オープニングレクチャー

母体による胚の認識機構-胚の着床（寄生）と感染症は表裏一体か-
藤原 浩（金沢大学医薬保健研究域医学系分子移植学 産科婦人科学分野）

教育講演 I

精子形成における細胞接着分子の役割
若山 友彦（熊本大学大学院生命科学研究部 生体微細構築学分野）

教育講演 2

マウスにおける生殖工学技術とその応用
中潟 直己（熊本大学生命資源研究・支援センター資源開発分野）

シンポジウム

「生殖臓器におけるマクロファージをめぐる免疫

第31回 日本生殖免疫学会

会 長：神戸大学：山田 秀人
 日 時：平成28年12月2日（金）午前8時50分から
 午後6時10分まで
 12月3日（土）午前8時50分から
 午後4時30分まで
 場 所：神戸国際会議場（兵庫）

プログラム

一般演題 86題

特別講演

ネオセルフ化自己抗原による新たな自己免疫疾患発症機構
 荒瀬 尚（大阪大学微生物病研究所 免疫化学分野教授）

教育セミナー1

妊孕能温存に関わる腹腔鏡手術 -子宮筋腫から子宮頸がんまで-
 安藤 正明（倉敷成人病センター院長）

教育セミナー2

生殖医療が直面する倫理問題を考える
 苛原 稔（徳島大学大学院 医歯薬学研究部 産科婦人科学分野教授）

教育講演 I

抗リン脂質抗体症候群の病態と臨床
 村島 温子（国立成育医療研究センター 周産期・母性診療センター）

シンポジウム1

「凝固異常症と不育症」

シンポジウム2

「抗リン脂質抗体の新たな展開」

シンポジウム3

第32回 日本生殖免疫学会

会 長：日本大学：早川 智
 日 時：平成29年12月2日（土）午前8時50分から
 午後5時40分まで
 12月3日（日）午前9時30分から
 午後4時40分まで
 場 所：日本大学医学部 記念講堂、リサーチセンターホール（東京）

プログラム

一般演題 36題

特別講演

雌雄の対立と哺乳類の繁殖戦略の進化
 長谷川真理子（総合研究大学院大学）

教育講演

2型自然リンパ球と疾患-
 茂呂 和世（RIKEN）

会長講演

歴史を変えた産婦人科疾患（英国王室を中心に）
 早川 智（日本大学）

シンポジウム

1. 母子感染-TORCHZ症候群
2. 生殖と免疫の進化

第33回 日本生殖免疫学会

会 長：日本医科大学：滝澤俊広
 日 時：平成30年11月24日（土）午前8時55分から
 午後5時50分まで
 11月25日（日）午前9時30分から
 午後4時20分まで
 場 所：日本医科大学 千駄木校舎（東京）

プログラム

一般演題 39 題

特別講演 1

マイクロ RNA 及びエクソソーム研究による生殖免疫の新展開

落谷 孝広 (国立がん研究センター研究所)

特別講演 2

PD-1 を標的としたがん免疫療法の開発

岩井 佳子 (日本医科大学先端医学研究所細胞生物学部門)

教育セミナー

医療者教育における倫理教育 - 職業教育の側面から -

福島 統 (東京慈恵会医科大学教育センター)

シンポジウム

「卵子の生殖工学：卵子の能力を理解してひきだす」

アジア交流ミニシンポジウム

Future of Asian Young Scientists in Reproductive Immunology

第 34 回 日本生殖免疫学会

会 長：奈良県立医科大学：小林 浩
日 時：令和元年 11 月 13 日 (水) 午後 2 時 00 分から
午後 6 時 00 分まで
11 月 14 日 (木) 午前 8 時 00 分から
午後 7 時 30 分まで
11 月 15 日 (金) 午前 8 時 00 分から
午後 12 時 40 分まで
11 月 16 日 (土) 午前 9 時 00 分から
午後 3 時 00 分まで
場 所：奈良春日野国際フォーラム 豊～I・RA・KA～
(奈良)

プログラム

※ 第14回国際生殖免疫学会と同時開催

一般演題 128 題 (Oral 11 題 + Poster 117 題)

ESRI (European Society for Reproductive Immunology)
New Investigator Award Competition 6 題

JSIR (Japan Society for Immunology of Reproduction)
Award Session 4 題

Opening remarks

Shigeru Saito

Congress chair of 14th World Congress of the International Society for Immunology of Reproduction (University of Toyama, Japan)

Hiroshi Kobayashi

Congress chair of The 34th Annual Meeting of the Japanese Society for Immunology of Reproduction (Nara Medical University, Japan)

Special Lecture

Control of immune responses by regulatory T cells

Shimon Sakaguchi (Osaka University, Japan)

Opening Lecture

Applying novel techniques to reproductive immunology; imaging, cellular movement, and gene and protein expression at single cell level

Michio Tomura (Osaka Ohtani University, Japan)

Professor Koyama Memorial Lecture

Many precious memories of Koji with his family
Shinsuke Koyama (Osaka Rosai Hospital, Japan)

The Study of Anti-Zona Pellucida Antibody

Akiko Hasegawa (Hyogo College of Medicine, Japan)

His research on anti-sperm antibody

Hiroaki Shibahara (Hyogo College of Medicine, Japan)

シンポジウム

Symposium 1: *New Immunological Approaches for Diagnosis and Therapy of Pregnancy Complications and Infertility*

Symposium 2: *Preeclampsia*

Symposium 3: *Male Infertility: Includes Contraception and Vaccines*

- Symposium 4: *Immunometabolism and its Impact on Reproduction*
- Symposium 5: *Autophagy, Immunity & Pregnancy*
- Symposium 6: *Gut and Female Genital Tract Microbiome and Adverse Pregnancy Outcomes*
- Symposium 7: *Immunological Tolerance at the Maternal-Fetal Interface and its Consequences for Children's Health*
- Symposium 8: *Infectious Immunity in Pregnant or Non-pregnant Women (Influenza, CMV, HIV, HPV, etc.)*
- Symposium 9: *Autoimmunity, Endocrine Disorders and Reproduction*
- Symposium 10: *New Immunological Cells at Fetomaternal Interface*
- Symposium 11: *Endometriosis*
- Symposium 12: *Implantation and Assisted Reproductive Technology*
- Symposium 13: *Recurrent Pregnancy Loss*
- Symposium 14: *Cancer Immunology and Immunotherapy*
- Symposium 15: *Inflammation and Preterm Birth*
- Symposium 16: *Placental Exosome and Micro-RNAs in Reproduction*

第35回 日本生殖免疫学会

会 長：大分大学医学部産科婦人科学講座：檜原久司
 日 時：ライブ配信
 令和2年11月28日(土) 午後1時00分から
 午後4時30分まで
 オンデマンド配信
 11月28日(土) 午前10時00分から
 12月4日(日) 午後11時59分まで
 場 所：WEB 開催

プログラム

一般演題 12 題

招聘講演

“EMBRYO-MATERNAL INTERACTIONS: A HISTORICAL PERSPECTIVE AND ITS IMPACT ON PRIMATE REPRODUCTION.”

Asgi T. Fazleabas (University Distinguished Professor and Associate Chair of Research, Department of Obstetrics, Gynecology and Reproductive Biology, Michigan State University, U.S.A)

特別講演

子宮内膜症の卵巣機能と胚受容能に与える影響—卵巣予備能への影響と着床における慢性子宮内膜炎の関連について—

木村 文則 (滋賀医科大学医学部産科婦人科学講座)

理事長講演

生殖医療の実践と生殖免疫学

柴原 浩章 (兵庫医科大学産科婦人科学講座)

シンポジウム

「移植・妊娠・癌の免疫—その同異点を考える—」

第36回 日本生殖免疫学会

会 長：日本大学医学部産科婦人科 川名 敬教授

日 時：ライブ配信

令和3年10月28日(木)～30日(土)

オンデマンド配信

11月上旬～11月30日(火)

会場：京王プラザホテル

プログラム

※ 第49回日本臨床免疫学会総会と共同開催

一般演題 33 題

特別講演 1

女性を支えるマクロファージ：ミステリアスな細胞が織りなすサイエンス

片淵 秀隆(熊本大学名誉教授・くまもと森都総合

病院特別顧問)

特別講演 2

妊娠高血圧症候群—基礎から臨床へ—

藤井 知行(医療法人財団順和会 山王病院 国際医療福祉大学)

会長講演

生殖器における粘膜免疫の特異性に注目した病態解明とそれを応用した創薬開発

川名 敬(日本大学 医学部産婦人科学系産婦人科学分野)

合同特別講演 1

腫瘍細胞の認識と拒絶

JSL1-1 がん免疫：認識・逃避・排除
河上 裕(国際医療福祉大学医学部免疫学)

合同特別講演 2

Reproductive Immunology as the hot spot of clinical immunology

JSL2-1 Impact of viral infections during pregnancy on the programming of the fetal immune system

Mor Gil G(Wayne State University)

合同シンポジウム

抗リン脂質抗体症候群

JSY-1 不育症患者における anti-phosphatidylserine/prothrombin antibodies (抗 PS/PT 抗体) と epidermal growth factor(EGF)の関係

JSY-2 Obstetric APS の免疫学的病理機序と治療における課題—抗血小板/抗凝固療法の先へ

JSY-3 抗リン脂質抗体症候群におけるトランスレーショナルリサーチ

JSY-4 母性内科からみる抗リン脂質抗体症候群合併妊娠

シンポジウム

シンポジウム 1 生殖・周産期免疫～認識と寛容 (4 演題)

シンポジウム 2 腫瘍免疫～認識と寛容(5 演題)

優秀演題セッション

P-1 妊娠高血圧腎症モデルマウスにおける子宮内での胎仔脳の炎症亢進と出生仔の高次脳機能障害の発生

P-2 がん微小環境における脂質代謝の制御は、抗腫瘍免疫応答を増強し、抗 PD-1 抗体の効果を増強する

P-3 子宮内膜症における PMN-MD SC の役割

P-4 マウス異系妊娠において、抹消誘導性父親抗原特異的 Treg 細胞は母児境界面で増殖する

P-5 全能性幹細胞が体内微小環境で受ける影響：卵管液性因子による初期胚の運命制御機構の存在

P-6 Relaxin(RLX)は、子宮内膜症病変の線維化、瘢痕形成および炎症を制御することにより、病態改善に寄与する

第 37 回 日本生殖免疫学会

会長：高知大学医学部産科婦人科学 前田 長正教授

日時：2022 年 11 月 18 日(金)10:25~18:00

11 月 19 日(土)09:30~16:30

会場：高知県立県民文化ホール グリーンホール他

プログラム

一般演題6題

特別講演

血管内皮細胞の抗原提示による腫瘍特異的 T 細胞の浸潤機構

宇高 恵子 (高知大学医学部免疫学)

特別報告

4 回以上流産を繰り返す原因不明の不育症を対象とした静注免疫グロブリンの二重盲検ランダム化プラセボ対照群間比較試験の成果

山田 秀人(手稲溪仁会病院不育症センター)

教育講演 1

Role of Innate and Adaptive Immunity in

Endometriosis

カーン カレク(京都府立医科大学 産婦人科)

教育講演 2(漢方教育講演)

がん免疫治療法における漢方薬の可能性

早川 芳弘(富山大学和漢医薬学総合研究所 生体防御学領域)

シンポジウム 1

配偶子免疫による不妊症と、避妊法の開発～過去・現在・未来～

S1-1 配偶子免疫による不妊症

S1-2 透明帯を応用した避妊ワクチン開発～過去・現在

S1-3 野生動物の個体数管理における避妊ワクチンの可能性

S1-4 免疫を利用した雄野生動物の繁殖抑制手法の開発

シンポジウム 2

周産期免疫～その最前線～

S2-1 エクソソームを介する胎盤-母体連関からみる妊娠高血圧腎症における選択的な臓器障害の発症機序

S2-2 T 細胞による胎児の認識と許容のメカニズム解明への挑戦

S2-3 トロンボモジュリンの作用に着目した妊娠高血圧腎症への新規治療戦略

S2-4 感染・免疫制御の観点から見たラクトフェリンによる後期流産・早産予防効果-生殖補助医療から早産予防まで-

S2-5 わが国の妊産婦における COVID-19 の現状: 2020 年および 2021 年の日本産婦人科医学会調査からの報告

ランチョンセミナー1

男性不妊症患者における血中亜鉛濃度の検討
生殖免疫における炎症～その役割と功罪～

ランチョンセミナー2

生殖免疫学に魅せられて-子宮内膜症研究を通して-

学会賞候補演題

P-1 炎症性サイトカイン IL-18 は正常な胎盤形成および胎児発育を促進する

P-2 NLRP3 は精漿免疫応対を制御し妊娠成立を促進させる

P-3 精巣分泌因子 Ts-1 はルミクリンシグナル伝

達を介した雄の妊孕性制御に必須である

P-4 加齢による卵子透明帯の表面構造変化は生死の結合を妨げ、受精に影響する

P-5 子宮内膜症における腹水中 NK 細胞受容体の発現強度の解析

P-6 子宮頸管熟化制御における抗炎症性蛋白プログラニュリンの役割

第38回 日本生殖免疫学会

会 長：熊本大学大学院生命科学研究部

成体微細物構築学講座 若山友彦教授

日 時：2023年11月24日(金)9:30~16:50

11月25日(土)9:30~16:40

会場：肥後銀行 本店ビル 2階大会議室他

プログラム

一般演題4題

特別講演1

オートファジー研究：基礎から臨床応用への

取り組み

中島 彰俊 (富山大学 産科婦人科教室)

講演2

遺伝子改変マウスを使った受精メカニズムの解明

野田 大地(熊本大学 大学院先端機構、熊本大学
生命資源研究・支援センター)

教育講演3

健やかな妊娠のために知っておきたい**血圧管理**

近藤 英治 (熊本大学大学院生命科学研究部 産科婦人科学講座)

学会賞候補演題

P-1 薬剤評価に向けた LDHC ヒト化マウスの作製と解析

P-2 子宮内細菌叢がmaternal-fetal interface における免疫寛容機序に与える影響の研究

P-3 前立腺癌細胞の細胞間輸送体を介した long non-coding RNA の細胞外分泌

P-4 末梢血細胞傷害性NK 細胞におけるICAM-1 発現はNK 細胞活性に伴って増加する

P-5 不育症病態における MMP-2 および Periostin の存在と意義

P-6 p62 は子宮頸癌の放射線治療効果の予測マーカーおよび補助治療のターゲットとなりうる

学生セッション

P-1 抗炎症作用に着目したヘパリンのマウス流早産防止能の検討

P-2 ドラッグリポジショニングを指向したホスホジエステラーゼ4 阻害薬の流早産治療への応用

P-3 虚血・再灌流による精子形成障害のラットモデルに対する補中益気湯の精巣保護作用

P-4 クローディン-11 はマウス直精細管におけるセルトリ様細胞の形態形成を制御する

第39回 日本生殖免疫学会

会 長：富山大学学術研究部医学系産科婦人科学教室
中島 彰俊教授

日 時：2024年12月13日(金)09:30~19:30

12月14日(土)08:30~14:40

会場：富山国際会議場他

プログラム

一般演題6題

特別講演 1

オートファジー：疾患と廊下に対抗する細胞の守護者

吉森 保（大阪大学大学院医学系研究科）

特別講演 2

生殖免疫から妊娠維持機構の解明と妊娠合併症に対する治療

齋藤 滋（富山大学）

漢方教育セミナー

古くて新しい子宮内膜症の漢方治療

甲賀 かおり（千葉大学大学院医学研究院）

シンポジウム 1

免疫学的臨床検査の基礎と発展

SY1-1 生殖医療における NK 細胞測定の意義とその臨床応用

SY1-2 体外受精反復不成功（RIF）症例の一因としての免疫因子を解決する

SY1-3 ヘパリンの抗炎症作用を通じた流産予防効果の検証-ヒトおよびマウスモデルでの解析-

SY1-4 反復着床不全・不育症女性に対する免疫検査・治療の実情

シンポジウム 2

生殖免疫の謎に迫る

～未来を担う若手研究者の起点～

SY2-1 IL-18 を中心とした胎盤形成機構の解明

SY2-2 T マウス慢性子宮内膜炎モデルの開発と不飽和脂肪酸を標的とした新規治療戦略

SY2-3 胎盤由来の細胞外小胞と細胞外ナノ粒子による新たな胎盤-母体間コミュニケーションメカニズム解明への挑戦

SY2-4 妊娠高血圧尋常における NLRP3 インフラマソームと GSDMD の役割

SY2-5 オートファジーから読み解く妊娠高血圧症腎症の発症とメカニズムと治療法開発

ランチョンセミナー1

新しいがん免疫療法の開発を目指して

学会賞候補演題

AW1 反復着床不全および流産既往患者に対するイントラリピッド療法の有効性の検討

AW2 ネオセルフ抗体陽性不育症に低用量アスピリンとヘパリン療法は有効である

AW3 二本鎖 RNA 受容体を介した自然免疫活性化による新胎児発育不全マウスモデルの創出

AW4 子宮内膜組織培養を用いた生体外着床・胚発生システムの新規開発

AW5 卵巣顆粒膜細胞は Trehalose 処理によって Autophagy 活性化と Rubicon 発現抑制が生じ、酸化ストレスに対する細胞生存能が向上する

AW6 トランスフェリン受容体（Tfrc）遺伝子欠損マウスは、精子形成および受精異常を伴う雄性不妊の表現型を示す